

傘と葉で花守る

新座市立池田小6年

今村 綾芳 11 (新座市)

空一面に雨が降り始めた。私は急いで傘をさしながら走り出した。すると目の前に花の山が飛び込んできた。その中に咲いていた一輪のアジサイ。私は思わず、アジサイの前まで歩み寄った。そして、アジサイの上にと傘を差し出した。自分は、びしょびしよになりながらしばらくながめていた。ふとアジサイが風で揺れ、まるで「ありがとう」と言ってもらえた気がした。近くに落ちていた大きめの葉をアジサイの上に置いて、私はダツシユで家に帰った。

次の日の帰り道、再びアジサイのところ立ち寄った。すると目の前には、元気に咲いているアジサイがあった。私は笑顔のまま家に帰りながら、「明日は、いいことがあるそうだな」と^{つよ}呟いた。そのまま幸せな気持ちで眠りについた。

改めて植物への愛着を持つことの大切さと植物の命の尊さを実感したのだった。